

日系カナダ人映画作家が見た災害と被災者住民の心の快復の記録 「東北の新月」監督:リンダ オオハマ/ナレーション:草刈 民代 [リンダ・オオハマ監督トークセッション開催]



開催日時

11/24<sub>[金]</sub>

PM16:50~

【開催場所:イオンシネマ幕張新都心】

#### 当日スケジュール

16:30 入場開始

16:50 神田外語大学学生ボランティア団体 「MAKE SMILE」復興教育ボランティア活動報告

17:05 上映開始~ 18:50 上映終了(休憩)

19:00 リンダ・オオハマ監督トークセッション (司会:神田外語大学英米語学科准教授 矢頭 典枝)

19:30 終了

# 鑑賞 500円

(鑑賞料金は今回の映画製作費用に充てられます)

[チケット販売/開催当日のみ]

11/24(金)16:00より販売開始

# Pinema Education Program

# 特別版

### 「東北の新月」リンダ・オオハマ監督 トークセッション開催

リンダ・オオハマ監督と映画にも出演している佐々木星瑛来さん(神田外語 大学職員)を交え今回の映画制作についてお話を伺います。

リンダ・オオハマは、バンクーバー在住の受賞経験もあるディレクターであり、独立し たプロデューサーです。1998年に初めて日本を訪れて以来、色々なプロジェクトを 通じ日加の文化交流に活動的に貢献しています。「東北の新月: A New Moon Over Tohoku」は彼女の8作目の映画です。





東北の新月:2011年に日本の東北地方で起きた大地震、津波、そして放射能 汚染災害後の、愛とサバイバル、日本の文化伝統の感動の物語。

この映画は宮城、岩手、福島 各県沿岸の市町村での 2年半以上に及ぶ取材ロケを 通じて制作された、災害に打撃を受けた日系カナダ人映画作家と被災者住民の 心の快復の記録である。

寡黙を旨とする東北の人々がその沈黙を初めて破り それぞれの思いを言葉に する。彼らの強さが先祖から受け継がれたものであり、自分達の存在が日本文化 のさらなる存続においてもユニークなものになった事を神秘的な確信を持って 物語る。未来を夢見る少年、新たな戦いに挑む年老いた侍: 両者は言葉で言い 表せぬ何か、しかし人生に必要不可欠な何かを共に見い出す。

「新月」、目には見えぬ月、しかし闇の中にその同じ引力を持ってしかと存在する月。 東北の新月:宮城、岩手、福島の人々の声。

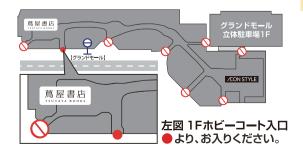
### く開催場所> イオンシネマ幕張新都心

ご来店は海浜幕張駅より路線バスが便利です。

JR 京葉線「海浜幕張駅」よりバスで 約8分(現金100円/IC165円) JR 総武線・京成線「幕張本郷駅」よりバスで約19分(現金220円/IC216円) TEL 043-213-3500(音声自動ダイヤル)

〒 261-8535 千葉県千葉市美浜区豊砂1-1 イオンモール幕張新都心 グランドモール3階

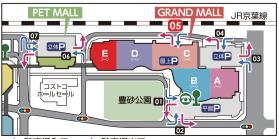
#### ■路線バスでお越しのお客さま



## お客さま

■車でお越しの 駐車場ゲートでからご入場いただき、グランドモール 4F駐車場

「リーンにお停めいただくと便利です。



▶ 駐車場入口 → 駐車場出口